

ピンホールカメラ・フォトグラム

空き箱から作ったピンホールカメラで、モノクロの写真が撮れることを実体験し、写真の原理を考えることができます。旧来の印画紙を使った写真体験となるため、トイレや浴室、控室など窓が少ない部屋を暗室（赤色灯のみ）に作り替え、その中で現像作業を行います。ピンホールカメラは屋外で晴れた日に行うと綺麗に写すことができます。雨天曇天の場合は、室内でできる作業としてフォトグラム（印画紙の上にモノを置き、光を当てて陰影を写し取る写真の一技法）に変更して実施可能です。

- 所要時間 2時間～
- 対象 小学生以上・20名程度
- 材料費 500円程度（1人分）
- 道具
 - ・ピンホールカメラ ・バットと tong ・赤い蛍光灯 ・入口を塞ぐ暗幕
 - ・秒針のある時計 ・ロート ・乾燥機 ・はさみ ・反転用の光源
 - ・延長コード
- 材料
 - ・印画紙 ・現像液 ・定着液 ・外光を塞ぐ段ボール ・
 - ・黒布テープ ・ガムテープ ・黒ビニールテープ （溶液入れ用ペットボトル）
- その他
 - ・手作りピンホールカメラを貸し出すことが可能です。（30個程度）
 - ・時間があれば、ピンホールカメラを作るところから始めることも可能です。
 - ・暗室と、印画紙の水洗い・乾燥をする水場がある部屋が必要です。
 - ・暗室づくりが所要時間以外にかかります。活動時間を延長し、参加者と作ることも可能です。また、事前に作り方をお伝えし準備していただく必要があります。
 - ・屋外で撮影し、暗室で現像作業を行います。

